問 15　若い人の政治参加に向け、現状で最も必要と思うもの

その他の自由記述回答

インターネット投票の導入と住民票移動の簡素化
（20～24 歳　男性）

オンライン化
（25～29 歳　男性）

メディアの正常化。選挙を大々的に取り上げて全候補者の PR 放送を選挙期間討論会等する
（25～29 歳）

現代史の教育です。政治がいかに今の日本を悪くしたかを学ばないと始まらない。歴史認識が歪められ、若者が考える力を失っている。
（25～29 歳　男性）

政治家や政治への信頼感の回復
（18～19 歳　男性）

学校授業で政治とカネの問題とは何か今までどんな汚職があったかなどを学校でしっかり勉強させる
（25～29 歳）

透明化
（25～29 歳　男性）

やる気
（25～29 歳　男性）

オンライン投票
（25～29 歳　男性）

金
（25～29 歳　女性）

基盤のない 2 世でない人でも参画できる政治資金と生活の保障
（25～29 歳　女性）

選挙運動に若者が覗いた際の大人の対応若者が違和感を感じたと指摘しただけでその若者を潰そうと行動されている政党の支持者が見受けられています。この現状を改善しない限り適切な若者の選挙活動への参加は無理だと思います。
（20～24 歳　男性）

決まった人しか候補者を紹介しないマスメディアへの罰則化
（20～24 歳　男性）

政治家の透明性の確保資金の用途の全公開の他、開示書類の黒塗りなどの禁止によって、議員の活動が全てアクセスできるようになる必要があると思います
（25～29 歳　男性）

学校教育での愛国心の形成、メディア改革、既存のメディアの偏向報道の是正
（20～24 歳　男性）

影響力を与えたいから。
（25～29 歳　女性）

学校の無償化、病院の無償化学生の利用する交通期間の無償化
（25～29 歳　男性）

政治に関する授業をもっと取り入れるべきだと感じる。また、政治以外にも社会人になったら必要になる税金等の知識を教育した方が良いと思う。
（25～29 歳　男性）

泡沫候補が騒いで話題になり、選挙が人気投票の祭りであると思わせること。
（25～29 歳　男性）

選挙権の上限年齢を定める
（25～29 歳）

日本全体としての大幅な賃金向上、賃上げがないと、立候補したくても経済的にできない層が出馬できるに至らない。供託金の問題ではない。
（25～29 歳　男性）

SNS や、デジタル化を促すべき。いまだに日本の未来を決めるのはアナログばかりでは、これからの日本はさらに世界から遅れをとると思う
（25～29 歳　男性）

働いてない高齢者の選挙権廃止
（20～24 歳　男性）

上記施策では投票率は上がらない
（25～29 歳　男性）

金
（25～29 歳　男性）

若年層へ向けた政治政策を打ち出す中道政党が増えること。
（25～29 歳　男性）

具体的な政策について話す機会を多く作る
（20～24 歳　男性）

無断ビラ撒き、無断街頭演説の取締りを廃止する。政治活動を政党や政治家の特権にしてはならない。
（20～24 歳　男性）

議員に定年を設ける
（25～29 歳　男性）

投票の年齢上限を設けるべき
（25～29 歳　男性）

信頼できる政治家の増加
（25～29 歳　男性）